

ひょうごから広げる創造的復興と減災のメッセージ ：阪神・淡路大震災 30 年を超えて

2025 年 9 月 20 日（土）13 時 30 分～16 時

兵庫県立大学・神戸防災キャンパス大教室（人と防災未来センター東館 4F）

（会場準備のため、参加希望者は紅谷（beni@drg.u-hyogo.ac.jp）までご連絡ください。

なお、事前連絡していない場合でも、当日参加は可能です。）

阪神・淡路大震災を教訓に、兵庫県立大学は創造的な復興と減災に関わる教育研究活動に取り組み、数多くの成果を生み出してきました。この減災復興学フォーラムでは、それらの成果の一端を紹介します。さらに、兵庫県内で防災の実践や防災教育に取り組む方々の報告をふまえながら、パネルディスカッションを通して、「復興」と「減災」を両立させる重要性を再認識し、未来に向けた「減災復興」の概念を広く発信します。大学での防災教育を通じて震災から得た知見を次世代にどう繋げていくか、そして未来の社会をどのように作り上げるのか、参加者の皆様と共に考えていく貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

報告①：防災ユニット・副専攻における防災教育

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授

学際リーダー教育センター・防災リーダー教育部門 副部門長 浦川豪

報告②：減災復興政策研究科における防災教育と研究

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授 永野康行

報告③：大学・大学院での学びと実践活動

宝塚市都市安全部総合防災課／本研究科修了生 村尾佳苗

報告④：兵庫県立長田高校における探究活動と防災の取組

兵庫県立長田高校教諭 吉井謙太郎

パネルディスカッション：「防災教育の役割と、未来への減災復興のメッセージ」

本フォーラムは、ひょうご EXPO week「災害からの創造的復興」シンクロイベント、及び本研究科同窓生のホーム・カミング・ディのイベントとして位置づけられています。

主催：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

協力：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科同窓会